

エスペック株式会社

東証プライム 証券コード:6859(電気機器)



環境試験器の世界トップメーカー
エスペック株式会社
会社説明会

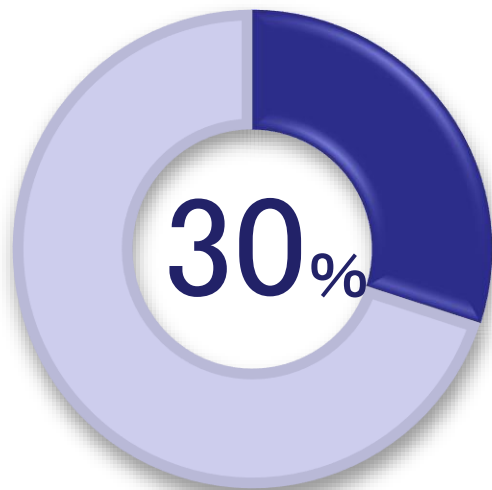
2025年3月3日

エスペックは環境試験器の世界トップメーカー

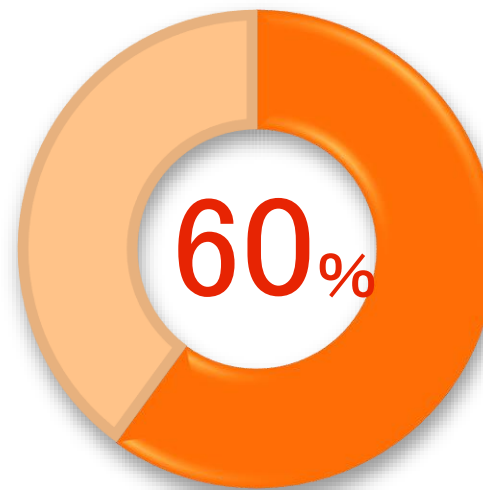
■経産省「グローバルニッチトップ企業100選」を連続受賞

2013年度に続き、2020年度にも受賞。「世界シェアと利益の両立」
「技術の独自性と自立性」「サプライチェーン上の重要性」が評価

世界シェア



国内シェア



※シェアは当社推定

メディアに多数取り上げられています

■金融投資情報の専門紙「日経ヴェリタス」(2024年7月7日号)

グローバルニッチトップ企業として取材を受け、「独自技術、世界を舞台に輝く」との見出しでニッチ分野で高いシェアを持つ注目企業として掲載された

■「あいち次世代モビリティ・テストラボ」開設の記事(一部)

- ・10月07日 日本経済新聞 エスペックのEV電池試験場、月内に受注開始
- ・10月17日 日刊工業新聞 「車台組み込み式」対応 エスペックEV電池専用試験所
- ・10月23日 日経テックフォーサイト エスペックEV用試験所拡充 車載電池の安全性認証
- ・10月23日 日経クロステック エスペックがEV向け試験所を拡充、「逆風の今こそチャンス」
- ・11月09日 中日新聞 車載電池試験常滑に エスペック国内最大級
- ・11月11日 日経モビリティ 大電力化するEVの安全証明 エスペック、水冷機能を検査
- ・2月12日 日本経済新聞 エスペック、EV電池の安全試験、愛知に国内最大級の施設
- ・2月15日 中日新聞 エスペック、車載電池試験所常滑にオープン
- ・2月18日 日刊工業新聞 車載電池 エスペック、試験所始動 愛知・常滑に国内最大級

本日お伝えしたいこと

グローバルニッチトップとして

持続的な成長ができる理由を**3**つご説明します

- ① 世界の先端技術に貢献する事業
- ② グローバル市場での成長と企業力
- ③ サステナビリティ経営（ESGを重視する経営）

目次

1. エスプレックの事業・業績推移・株主還元

2. 理由①世界の先端技術に貢献する事業

3. 理由②グローバル市場での成長と企業力

4. 理由③サステナビリティ経営（ESGを重視する経営）

目 次

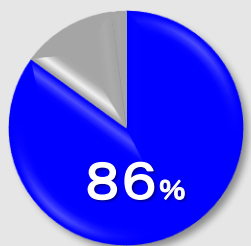
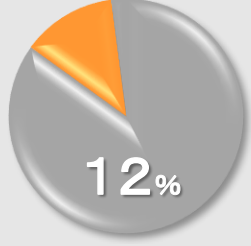
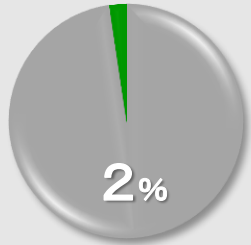
1. エスプレックの事業・業績推移・株主還元

2. 理由①世界の先端技術に貢献する事業

3. 理由②グローバル市場での成長と企業力

4. 理由③サステナビリティ経営（ESGを重視する経営）

エスペックの3つの事業

	製品・サービスと事業環境認識		売上構成比 2023年度
装置 事業	環境試験器		 86%
	エナジーデバイス装置（二次電池・燃料電池評価装置）		
	半導体関連装置（バーンイン装置・計測システム）		
サービス 事業	アフターサービス・エンジニアリング		 12%
	受託試験・レンタル		
その他 事業	環境保全（森づくり、水辺づくり、都市緑化）		 2%
	植物育成装置（植物工場、研究用育苗装置など）		

工業製品の性能・品質を確保する豊富な製品群

環境試験器

温度・湿度・圧力範囲、温度変化速度、大きさなどにより多彩な装置をラインアップ



エナジーデバイス装置

EVIに搭載される二次電池や燃料電池の評価装置



半導体関連装置

半導体の良品・不良品を選別するバーンイン装置や計測評価システム



お客さまの試験・開発業務を支援する充実のサービス

アフターサービス・エンジニアリング

お客さまが安心して装置をお使いいただけるよう製品のメンテナンスや予防保全を実施



受託試験サービス

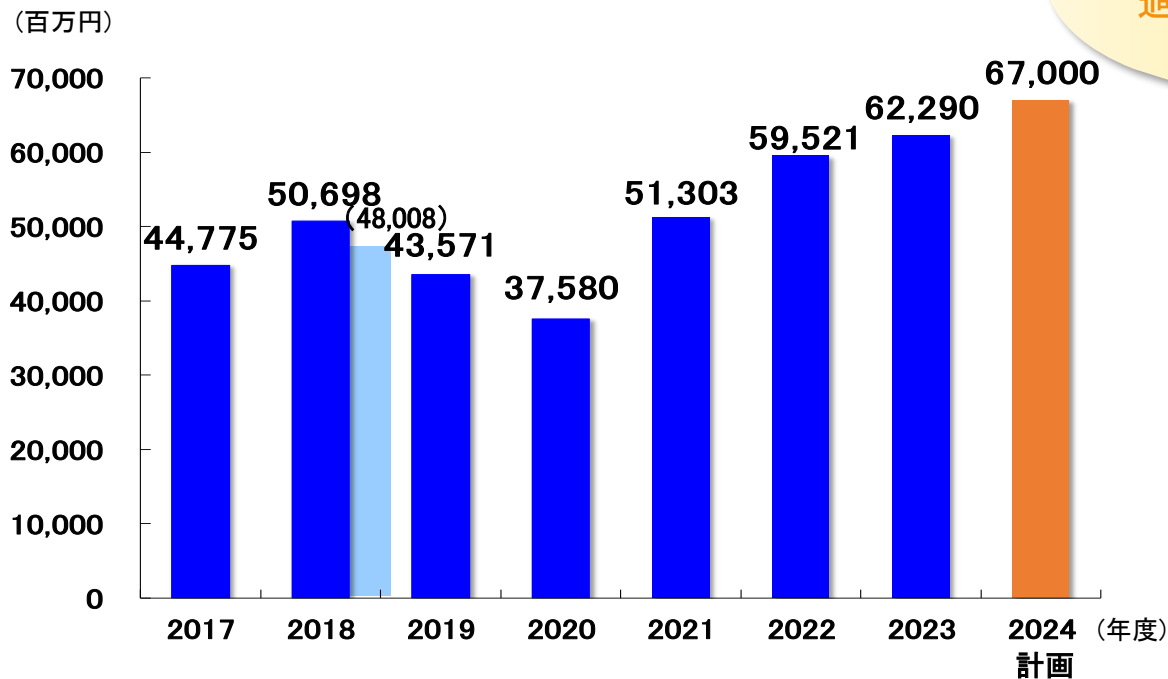
当社試験所にて顧客の環境試験を代行
環境試験器の世界トップメーカーとして
高い技術と知見を活かし受託試験サービスを展開

国内5カ所(宇都宮・常滑・豊田・刈谷・神戸)、
中国2カ所(上海・蘇州)、タイ1カ所に試験所を設置



業績推移(受注高)

2021年度以降、社会のデジタル化・脱炭素化を背景に
先端技術分野であるEV・バッテリー分野の試験需要が拡大
IoT関連(通信端末、基地局、サーバー)の需要も堅調に推移



※2018年度は海外連結会社の決算期統一に伴い、海外連結会社の決算期間が15ヵ月となる変則決算

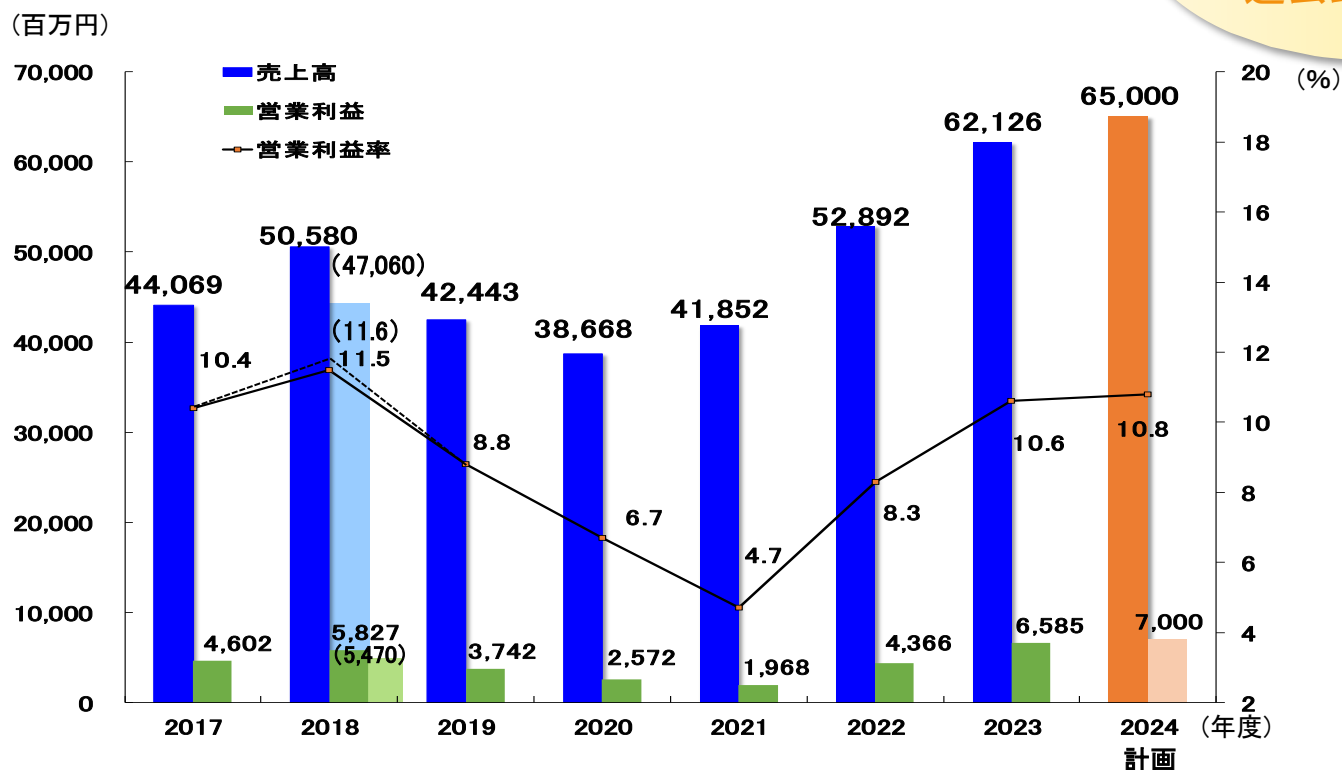
()は海外連結会社の決算対象期間が12ヵ月であった場合の参考値

※2024年度の業績予想は、2024年11月に上方修正

業績推移(売上高・営業利益・営業利益率)

2021年度より部品調達難の影響を受けたが2023年度に概ね解消
部材価格高騰に対応するため製品・サービスの値上げを実施
2024年度は生産能力増強によりさらに収益が拡大

売上高は**3年連続**
営業利益は**2年連続**
過去最高見込

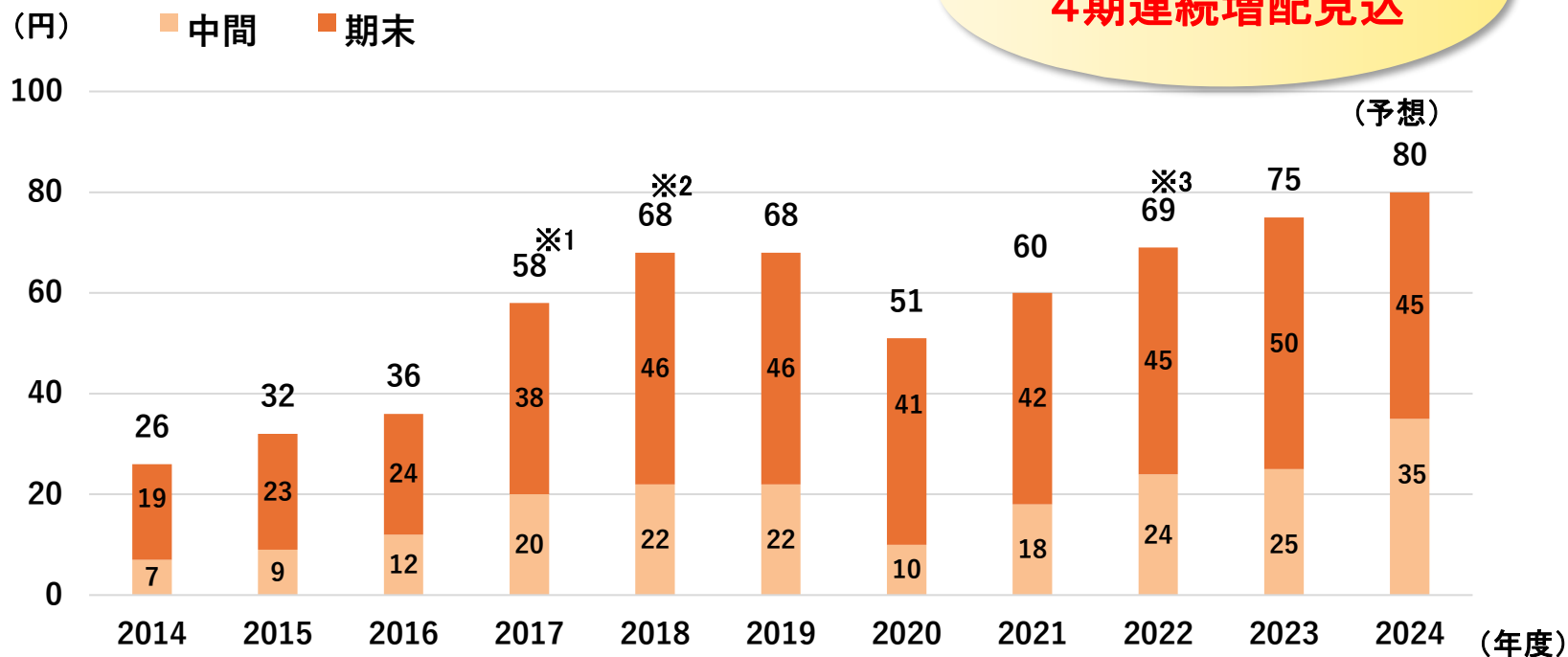


※2018年度は海外連結会社の決算期統一に伴い、海外連結会社の決算対象期間が15ヵ月となる変則決算
()は海外連結会社の決算対象期間が12ヵ月であった場合の参考値

配当金と配当性向・総還元性向の推移

一株当たり配当金と配当性向・総還元性向

上場以来無配なし
4期連続増配見込



配当性向(%)	28.5	30.5	36.8	40.1	36.2	55.2	59.4	70.7	45.9	33.0	33.6
総還元性向(%)	28.5	56.6	36.8	40.1	36.2	55.2	59.4	126.9	78.9	33.0	-

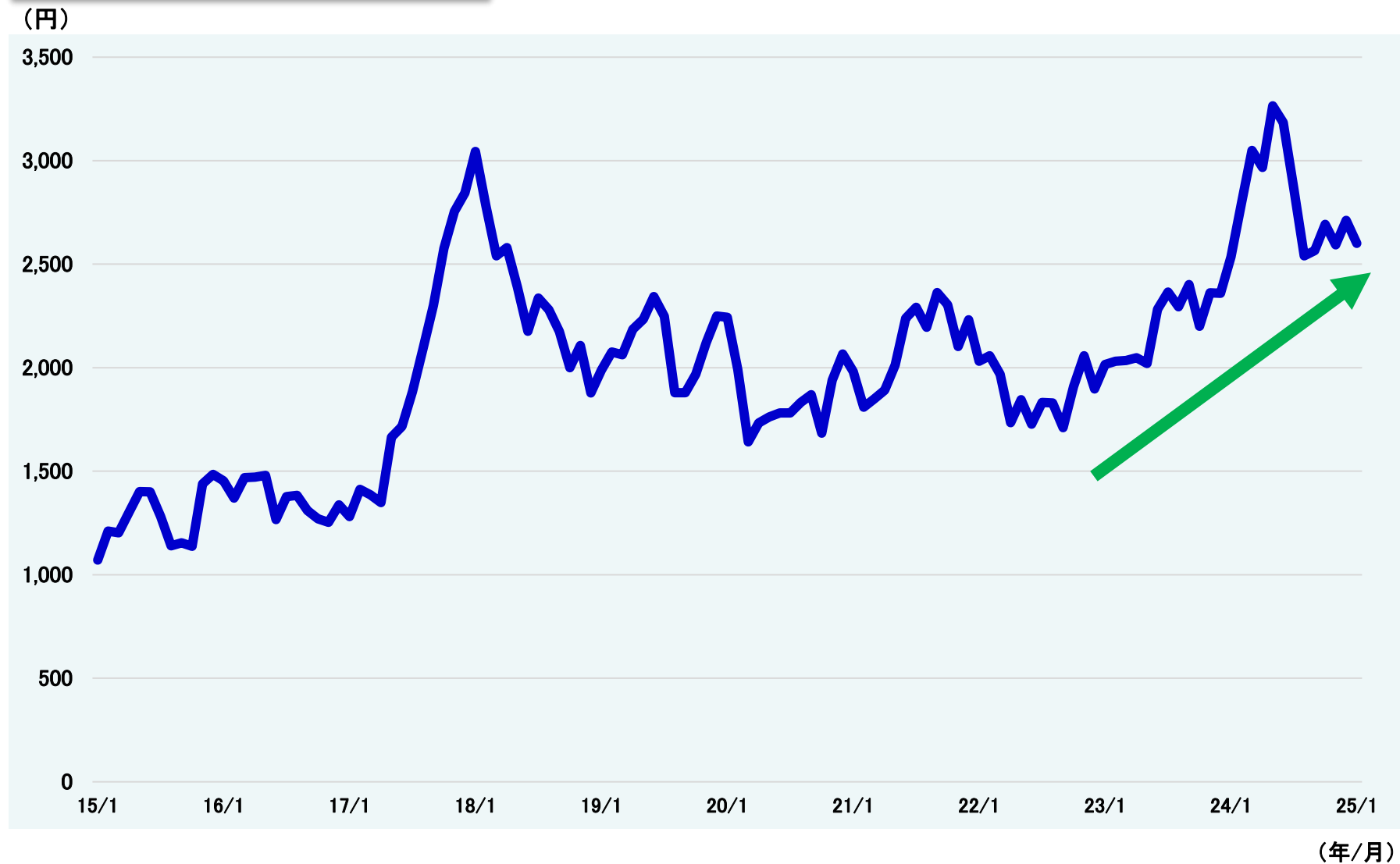
※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期間が15ヵ月の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

株価推移

過去10年間の株価推移



目次

1. エスペックの事業・業績推移・株主還元

2. 理由①世界の先端技術に貢献する事業

3. 理由②グローバル市場での成長と企業力

4. 理由③サステナビリティ経営（ESGを重視する経営）

「環境試験」とは

あらゆる環境を人工的に再現し、自動車やスマートフォンなどさまざまな製品がどのような環境で使用されても性能・品質が保たれることを確認するための試験です。各種規格（国際規格・国連規格・国家規格・業界規格・メーカー各社規格など）に環境試験の実施が定められており、技術開発や品質評価の過程で必ず行われます。

温度や湿度、圧力などを制御し、環境試験器の槽内をさまざまな環境に再現します



例えば、

- ・ジャングル（熱帯雨林）
- ・砂漠（乾燥地帯）
- ・南極（寒冷地帯）
- ・成層圏（低温低圧）

などを再現します

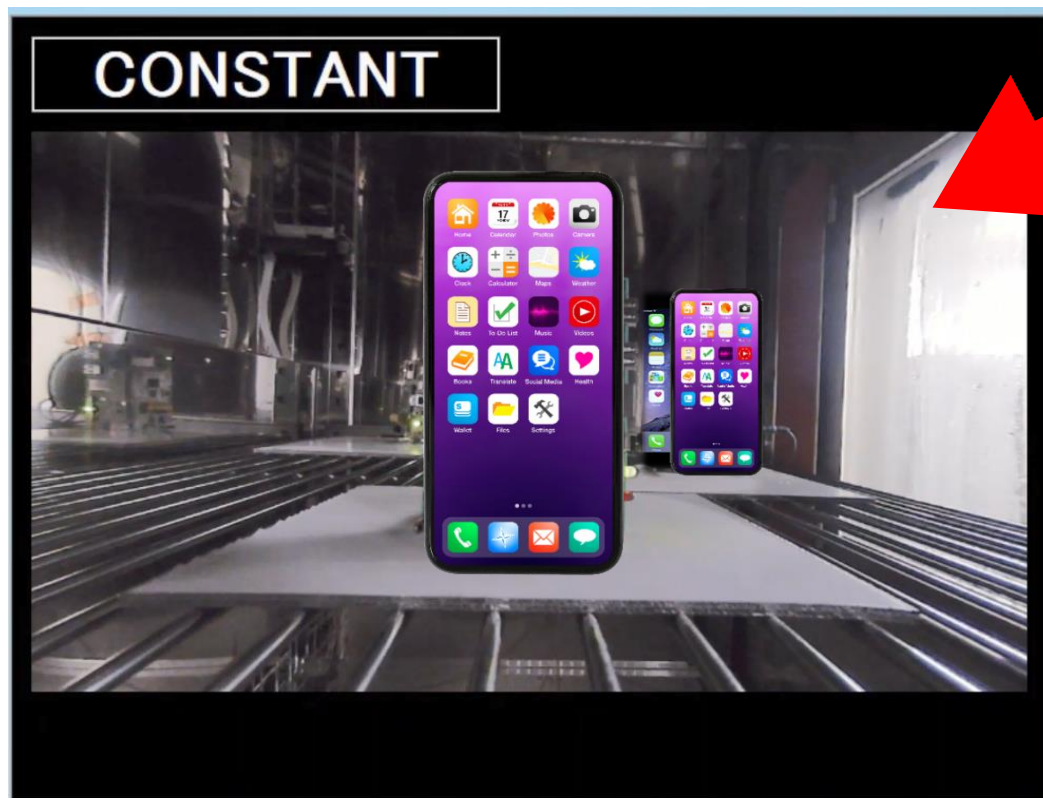


環境試験器

環境試験の様子

■スマートフォンの試験

試験条件：温度85℃、湿度85%rh



カメラステータス

接続中

カメラ再接続

温度/湿度

設定値

85.0 °C

85.1 °C

設定値

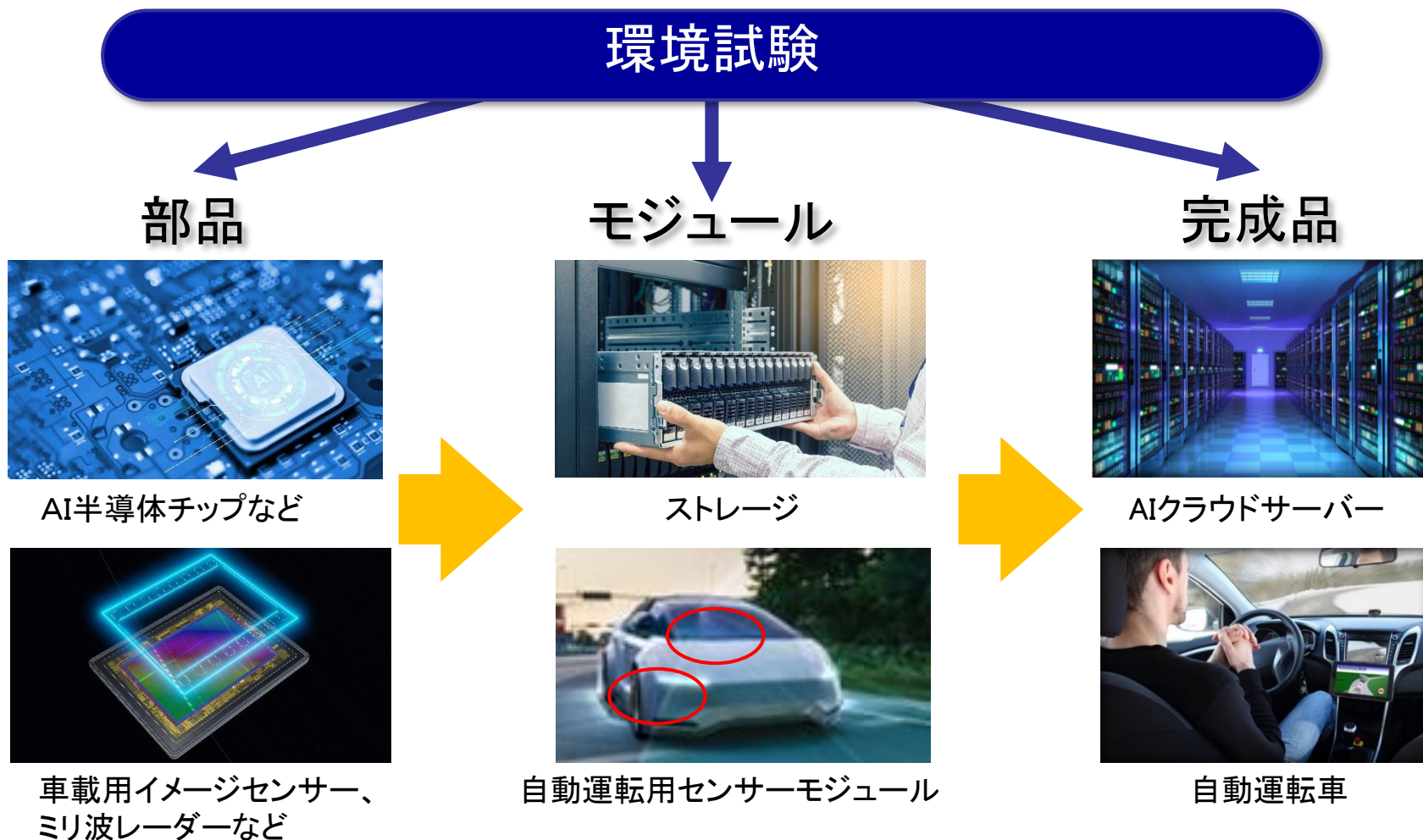
85 %rh

85 %rh

スマートフォンの耐久性や信頼性を評価する環境試験の様子

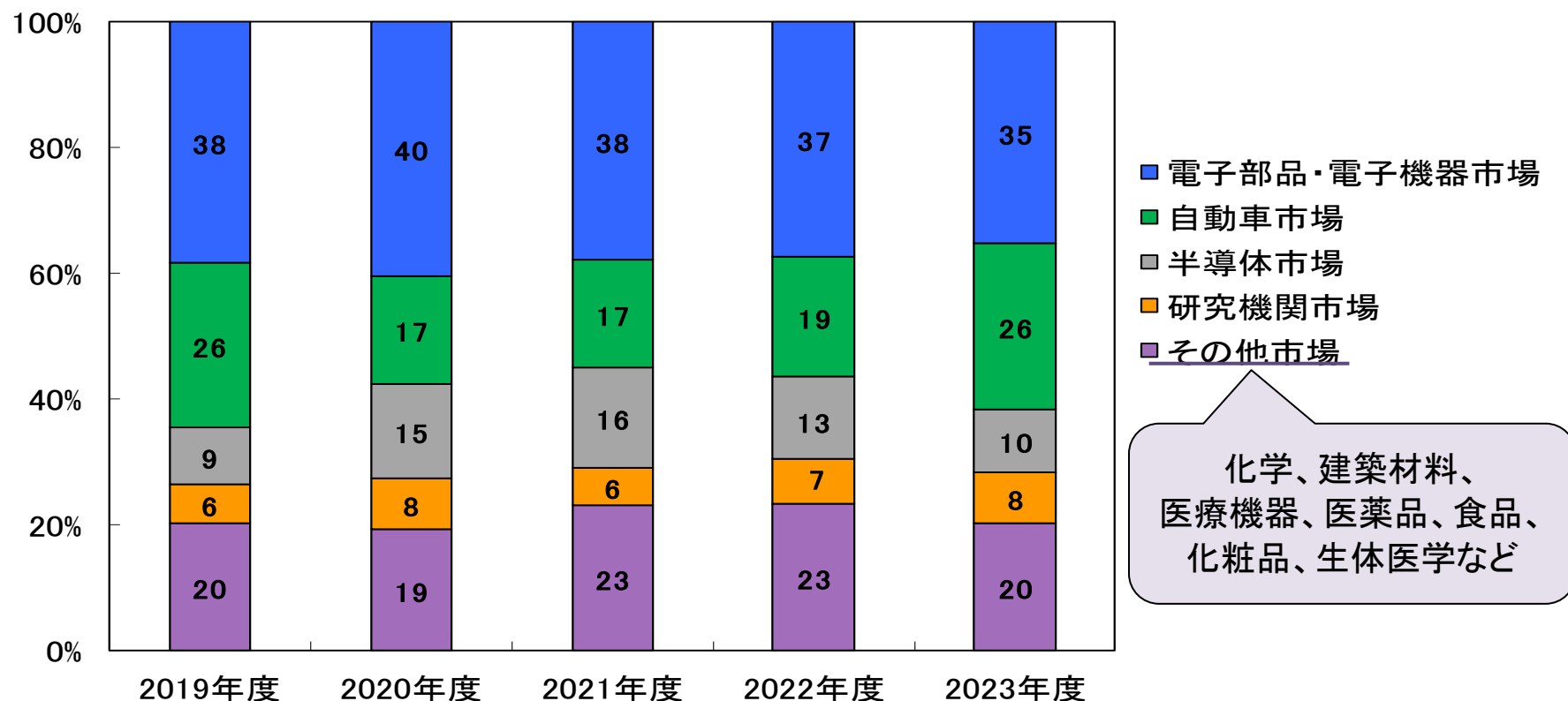
新技術・新製品の開発に不可欠な環境試験

部品単位・モジュール単位・完成品単位と試験を繰り返すことで
新技術・新製品の性能や品質、安全性が確保されている



エレクトロニクス、自動車を中心に幅広い分野で活躍

市場別売上高（単体 装置事業）



重点市場＝先端技術分野でさらなる成長を目指す



社会のデジタル化・脱炭素化



AI・IoT分野

- データストレージ
サーバー、AI半導体、メモリ
- 最先端半導体
先端パッケージ（3次元、チップレット）
- 高速データ通信
端末、基地局、産業IoT機器

次世代モビリティ分野

- EV化
バッテリー、パワー半導体、モーター
- 自動運転
カメラ、ミリ波レーダー、LIDAR
- コネクテッド化
車載ネット端末、ディスプレイ

【TOPICS】先端技術分野向け新製品・新サービス

高性能半導体の受託計測サービス (熱変形計測・熱画像解析)

放熱設計など「熱」に関する技術課題
解決を支援

2025年1月サービス拡充



熱変形計測システム

環境配慮型製品 (省エネ・低GWP冷媒搭載)

独自の冷凍技術により環境負荷低減と
高性能を両立

2024年11月発売



低温恒温(恒湿)器
プラチナスJシリーズECOタイプ

2024年10月発売



急速温度変化装置
プレミアムエクセレントシリーズ
(EC-28PXHH)

【TOPICS】あいち次世代モビリティ・テストラボ

中日本エリアにおける
車載用バッテリー、EV・自動化モジュールの受託試験サービスを強化

あいち次世代モビリティ・テストラボ

- あいちバッテリー安全認証センター 新設(愛知県常滑市)
- 豊田試験所 機能拡張(愛知県豊田市)

2025年2月新設



あいちバッテリー安全認証センター



高い試験技術と知見を持つ当社試験員が実施

目次

1. エスペックの事業・業績推移・株主還元

2. 理由①世界の先端技術に貢献する事業

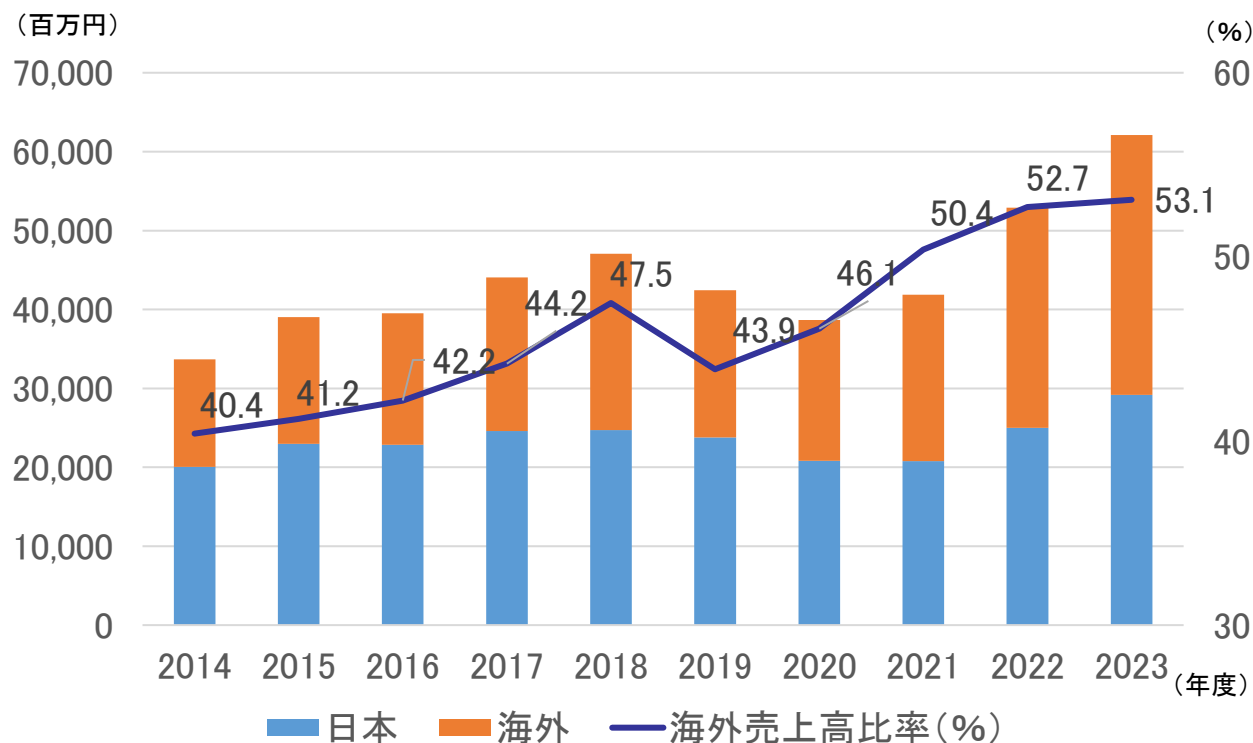
3. 理由②グローバル市場での成長と企業力

4. 理由③サステナビリティ経営（ESGを重視する経営）

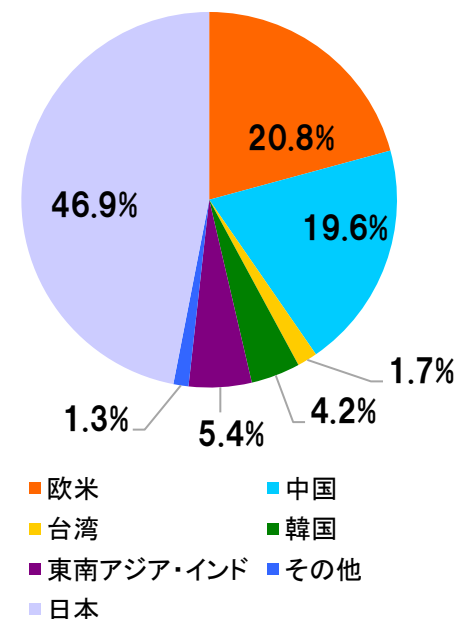
グローバル市場での成長

グローバル戦略の推進により海外売上高比率は上昇、3期連続で50%超

国内・海外売上高/海外売上高比率



地域別売上高
2023年度実績



※2018年度は海外連結会社の決算期間が15ヵ月となる変則決算のため12ヵ月であった場合の参考値

グローバルネットワーク

連結子会社 13社
(海外9社、国内4社)

海外ネットワーク
50カ所(国・地域)44社

国内営業・サービス拠点 16カ所
国内代理店 46社

欧州

● ESPEC EUROPE GmbH
△ ESPEC IKLIM KABINLERI
SATIS VE MUHENDISLIK
LIMITED SIRKETI

アジア

● 上海愛ス佩克環境設備有限公司 ※
● 愛ス佩克環境儀器(上海)有限公司
● 愛ス佩克試験儀器(広東)有限公司 ※
● 愛ス佩克測試科技(上海)有限公司
● ESPEC(CHINA)LIMITED
● ESPEC KOREA CORP. ※
● ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.
△ ESPEC ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.

米国

● ESPEC NORTH AMERICA, INC. ※

日本

エスベック(株) ※
● エスベックアシスト(株)
● エスベックミック(株)
● エスベックサーマルテックシステム(株) ※
● コスモピアハイテック(株) ※

● 印・・・連結子会社
△ 印・・・非連結子会社

※は生産機能を持つ会社

グローバルニッチトップを支える技術力

環境創造技術

温度、湿度、圧力、雨、霧、雪、風、光などの環境因子を精密に再現する当社のコア技術

高品質・高性能製品

高い試験精度が求められる先端技術の開発分野や世界のグローバル企業に対応

カスタム対応力

さまざまな試験が必要な最先端ニーズや顧客固有の特殊ニーズにも最適な製品を提案

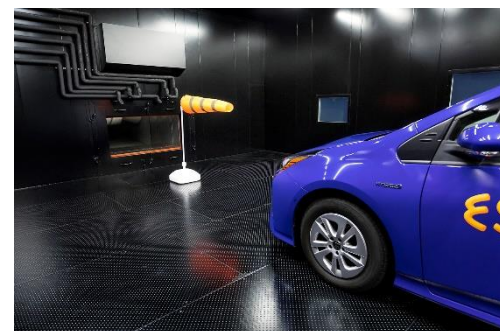
環境創造技術 「全天候型試験ラボ」の紹介

2021年3月、神戸R&Dセンターに開設

7つの環境因子(温度、湿度、雪、霧、雨、風、光)を高精度に制御、可変
世界初、動的気象環境(刻々と変化する気象環境)を再現



試験室の大きさ
幅6m × 奥行9m × 高さ3m



みぞれ⇒雪、雨⇒霧など気象環境の変化を再現
自動運転用センサーや屋外設置のアンテナなどの性能を確認

目 次

1. エスプレックの事業・業績推移・株主還元

2. 理由①世界の先端技術に貢献する事業

3. 理由②グローバル市場での成長と企業力

4. 理由③サステナビリティ経営 (ESGを重視する経営)

企業理念

創業当時から脈々と伝わるエスペックの大切な価値観

企業理念「THE ESPEC MIND」(抜粋)

起 点

社会の公器として、すべてのステークホルダーとより良い価値交換を目指す

使 命

環境創造技術でより確かな生環境を提供

スタイル

プログレッシブ(進取的な)、リライアブル、オープン、フェア

宣 言

社会に約束すること「遵法」「文化」「人権」「環境」「啓発」

E: 環境への取り組み

第8次環境中期計画(2022~2025年度)を実行中

<環境目標>

- ・温室効果ガス排出量削減(2019年度比)
 - 2030年度 SCOPE1+2 60%削減、SCOPE3 30%削減
 - 2025年度 SCOPE1+2 55%削減、SCOPE3 10%削減
- ・2025年度 エスペックミック植樹本数50,000本・CO₂固定貢献95t(累計)
- ・兵庫県三田市「エスペック50年の森」運営による生物多様性保全活動



国際的なSBTイニシアチブより
SBT認定を取得



CDP気候変動レポート
5年連続Bスコア
(8段階中上から3番目)



環境配慮型製品の開発



「エスペック50年の森」植樹祭
生物多様性豊かな森を育成



TCFD(気候関連財務情報開示
タスクフォース)に基づく情報開示

【TOPICS】全国みどりの工場大賞「経済産業大臣賞」受賞

神戸R&Dセンター(兵庫県神戸市)が

2024年度全国みどりの工場大賞※「経済産業大臣賞」を受賞

※工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境の向上に顕著な功績のあった工場を表彰する制度



在来種にこだわった森、ビオトープ、屋上草地からなる
「エスぺックバンビの里」 1.5haの空間を創出



「全国みどりの工場大賞」表彰式
2025年1月22日

S: 人的資本の最大化に向けた取り組み - 自律的な成長支援 -

経営戦略と連動した人材育成

- ・「次世代経営幹部の育成」や、「グローバル人材」「DX人材、デジタル人材」の育成に注力
- ・社員の自律的・主体的なキャリア形成を支援する多彩な教育プログラムを用意



中堅社員で構成した「ジュニアボード」
2035年のエスベックのビジョンを経営層に提言

女性活躍推進の取り組み

- ・多様な人材の確保・育成に注力しており
女性リーダー育成研修の実施や仕事と育児を
両立できる職場環境づくりを推進
- ・女性管理職比率は2013年度から約10年で
2.8%から9.5%と着実に上昇

2013年度	→	2024年度
2.8%		9.5%

※女性管理職比率 2025年度目標: 10%以上

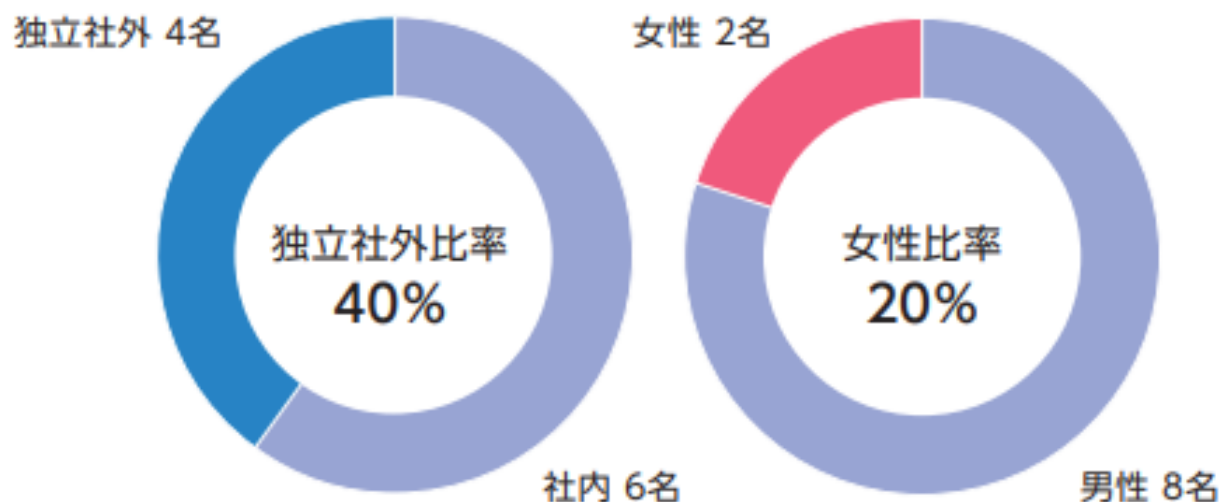


G:ガバナンスの取り組み

2022年6月、株主総会にて監査等委員会設置会社への移行を決議

- ・取締役会における審議の充実化、監督機能の強化
- ・取締役会の多様性確保(社外取締役4名、女性取締役2名)

■ 取締役(監査等委員である取締役を含む)の構成



※2024年6月末時点

エスペックは
これからも社会に役立つ企業として
持続的に成長してまいります

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

サステナビリティ推進部 部長 中川

IR・広報グループ 大川・貝川

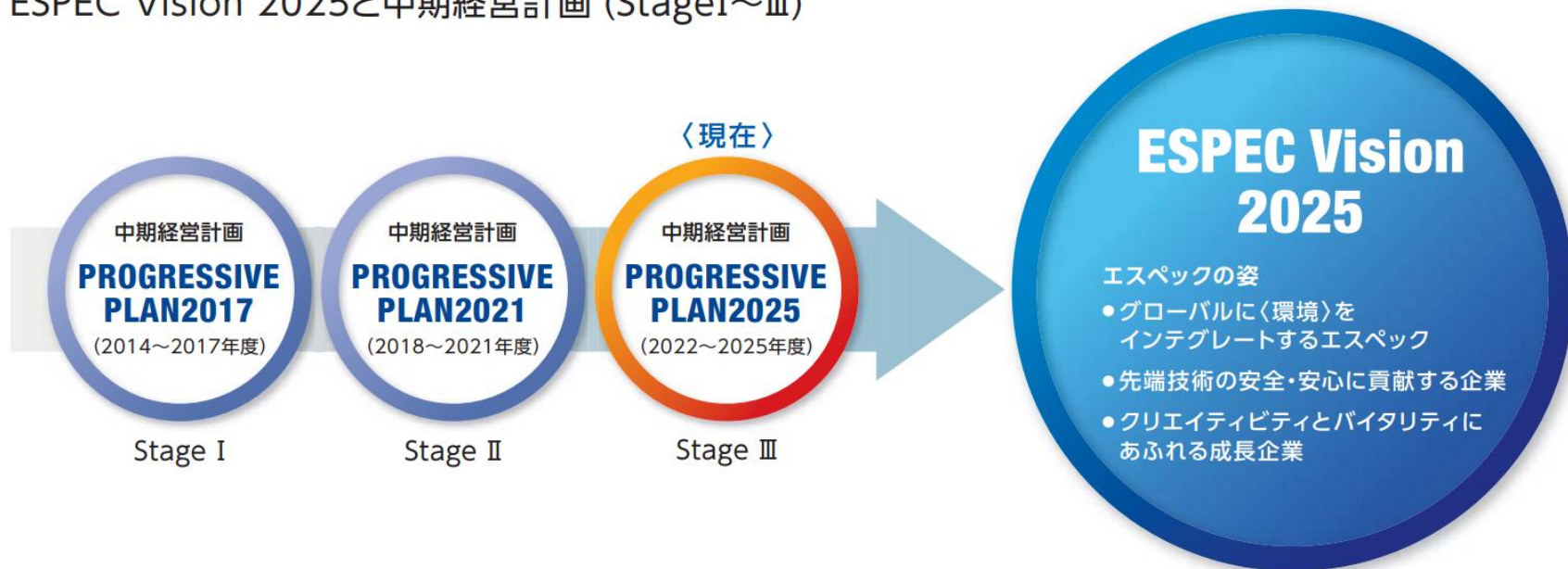
参考資料

長期ビジョン「ESPEC Vision 2025」

■ エスベックの姿

- ・グローバルに〈環境〉をインテグレートするエスベック
- ・先端技術の安全・安心に貢献する企業
- ・クリエイティビティとバイタリティにあふれる成長企業

ESPEC Vision 2025と中期経営計画 (StageI～Ⅲ)



中期経営計画「プロGRESS プラン2025」

基本方針

個と職場の慣性と惰性を打破し、先端技術の実用化に貢献する

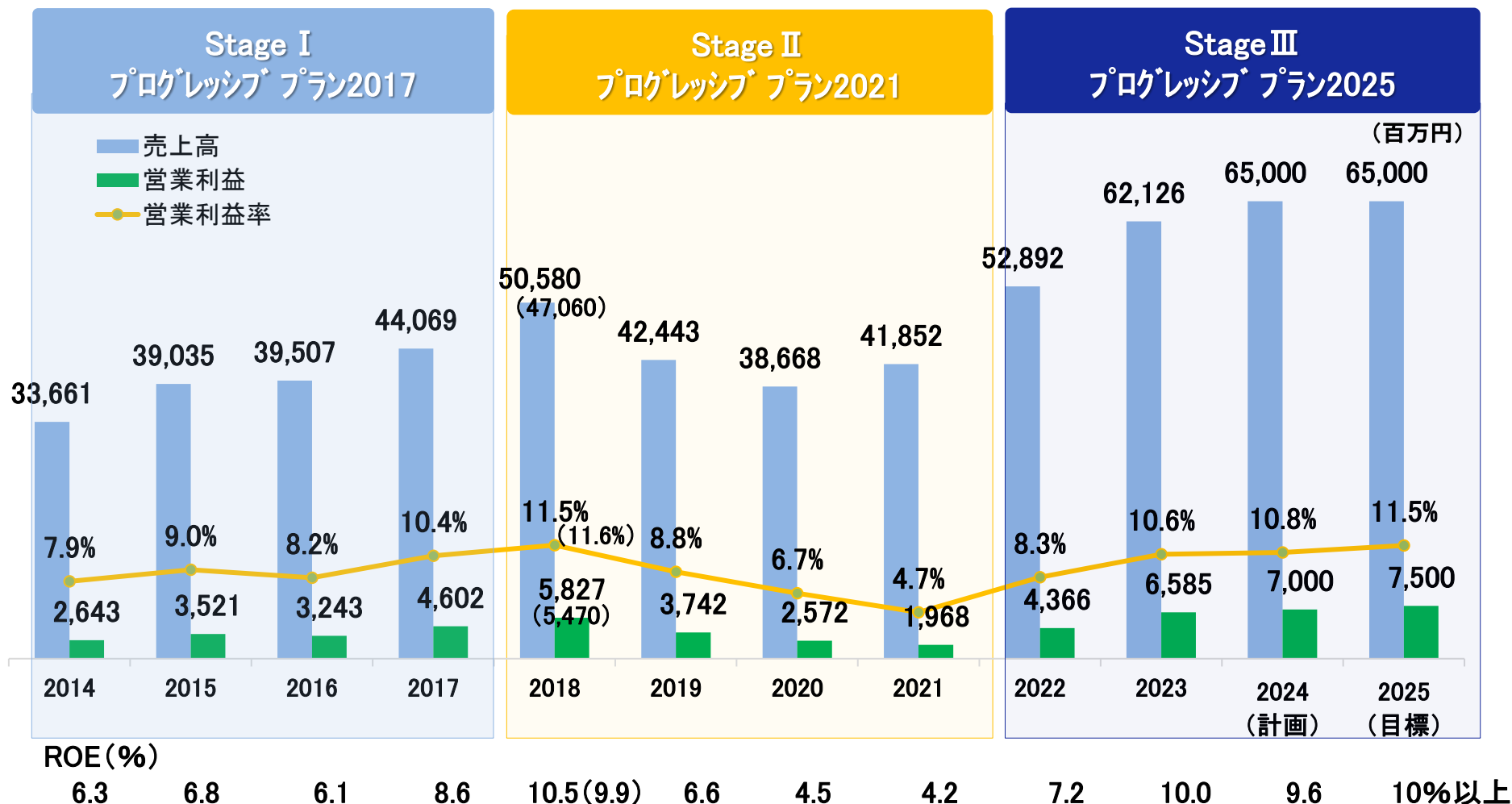
- ・IoT・次世代自動車市場に貢献する商品・サービス提供に向けた積極的な成長投資
- ・ビジネスチャンスと不測の事態に対する変化対応力を高める

中期経営戦略

1. 環境試験事業戦略
 2. グローバル戦略
 3. 新規事業戦略
 4. モノづくり改革とDX戦略
-
5. 組織開発・人材開発戦略
 6. 経営基盤強化戦略
(環境・社会・ガバナンス)

長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン「ESPEC Vision 2025」に向けて中期経営計画Stage I～Ⅲを実施
2025年度目標 売上高650億円は今年度達成見込み、営業利益75億円の達成を目指す



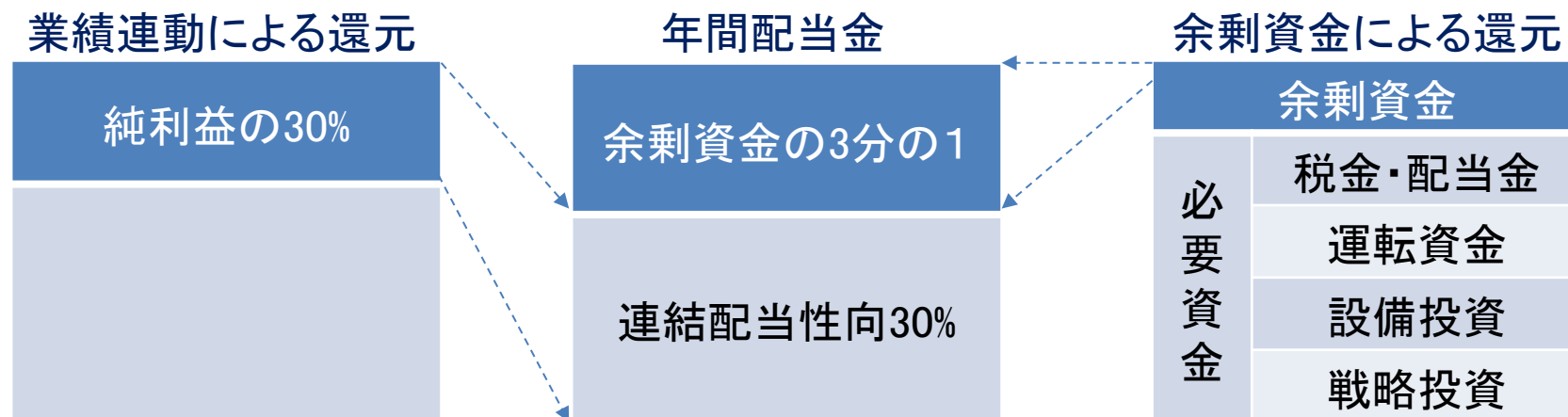
※ 2018年度は海外連結会社の決算期間が15ヵ月の変則決算、()は海外連結会社の決算対象期間が12ヵ月であった場合の参考値

財務戦略と株主還元

- 収益性と資本効率性の向上をはかり、持続的成長に向けた成長投資（M&A含む）を積極的に行う
- 財務基盤の安定と資本効率の向上を目指す 2025年度目標:ROE10%以上
- 必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する

<配当基本方針>

配当性向30%に加え、余剰資金の1/3を目途に上乘せする



※安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、
2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う

人的資本の最大化に向けた取り組み

企業文化の良質化/組織マネジメント

- ラウンドアップ研修会、ダイレクトコミュニケーション 1on1ミーティング、さん付け呼称
- エンゲージメント調査、人材アセスメント、360° サーベイ
- チャレンジを生み出す評価制度

個の成長支援

- キャリア研修
- 語学学習支援
- リカレント教育
- 通信教育

会社

- 多彩な成長支援
- 活躍機会の提供

企業価値の向上

成長の喜びをシェア
従業員と経営が一体化し
活気にあふれている

従業員

- 自律的な成長
- 働きがい

経営戦略と連動した人材育成

- 次世代経営幹部の育成
- グローバル人材
- DX人材、デジタル人材

ダイバーシティ&インクルージョン 社員の健康と安全の確保

- 女性社員、シニア社員活躍推進
- 健康増進、メンタルヘルスケア
- 障がい者雇用率の向上
- 人権、ハラスメント教育

社会貢献活動

障がい者就労農園 「エスペックスマイルファーム」を開設

- ・2021年11月、障がい者雇用支援会社が運営する貸農園内に障がい者就労農園を開設
- ・障がいのある方3名と管理業務を行う1名の計4名を採用
- ・栽培した野菜は、地域の子ども食堂への寄付や社員への配布などに活用



社員一同で野菜を収穫

従業員参加型の寄付制度 「エスペックスマイルクラブ」

- ・SDGs推進活動の一環として、従業員の寄付金に会社が寄付金を上乗せするマッチングギフト制度を設置(2020年12月)
- ・子供と医療関係の社会貢献活動を行う団体に寄付
- ・2024年4月、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの「パレスチナ自治区ガザ地区・緊急支援」、
「2024年能登半島地震 緊急子ども支援」に総額893,400円を寄付



社外からの評価

■ESG関連の評価

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れ
- ・CDP 気候変動分野の調査で5年連続「Bスコア」、水セキュリティは「B-スコア」
「サプライヤーエンゲージメント評価」では、2年連続最高評価の
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
- ・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選定
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 SDGs経営編」3.5つ星
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」3つ星



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



■IRサイトの評価

- ・「大和インターネット IR表彰」優良賞
- ・日興アイ・アール「全上場企業ホームページ充実度ランキング」
最優秀サイト
- ・「Gomez IRサイトランキング2024」銅賞（業種別17位）
- ・「Gomez ESGサイトランキング」優秀企業



Quality is more than a word

ESPEC